

芦屋市誕生



松ノ内町付近 河川の復旧工事は、昭和14年から7ヵ年かけて国の事業として行われ、多くの村民が復旧に協力した。



復旧工事 7月10日～30日まで、地元のほか、大阪、兵庫県下の学校、消防団、青年団など、延11,445人の勤労奉仕の協力があった。



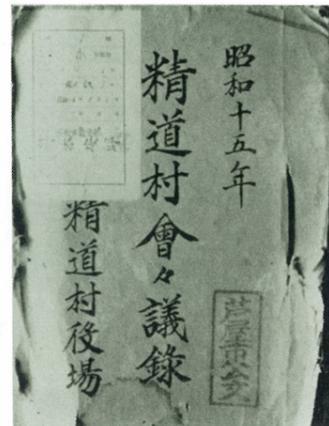
復旧工事 「7月6日 芦屋川土砂取除ニ消防組・青年団・人夫235名出動」(『水害日誌』昭和13年7月)

精道村から芦屋市へ

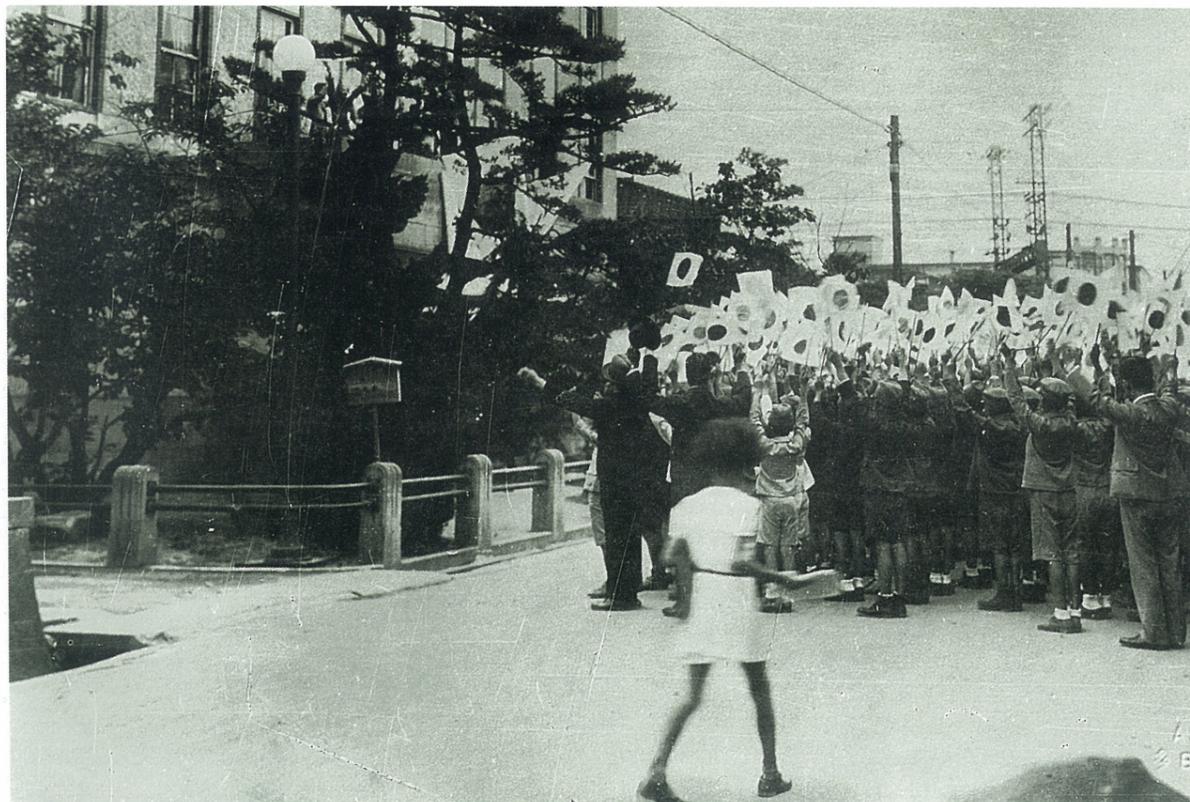
精道村の発展は、交通機関の発達にともなって、住宅地として開発がすすめられ、早くも大正年間から生活環境の整備がすすめられ、文化住宅都市芦屋の基盤が形成されていきました。この間昭和9年・13年の大風水害があり甚大な被害を受けました。しかし、この被災もひとつの契機として充実をはかり、市制施行を旨とした調査と準備がすすめられました。

精道村村民の永年の宿望であった市制実施は、昭和15年11月10日実現しました。全国で173番目の市として誕生、村から一躍して市になりました。このときの人口は41,925人、戸数8,147戸を数えました。市名の「芦屋」は、精道よりも大字名となっていた芦屋の名で全国的に知られていましたので、芦屋と決定されました。

当時、一躍村から市へ移行したことは注目すべきことであり、前例としては、山口県宇部市と長野県岡谷市をかぞえるばかりでした。



市制施行を決めた精道村会会議録
市制施行に関する件が上程付議された昭和14年11月18日召集の第9回精道村会会議録



市制施行を祝う市民 市役所前



市制施行祝賀の旗行列 昭和16年 市役所前



市制施行祝賀の旗行列 芦屋川左岸線阪神ガード下

市会議員選挙

昭和15年12月26日には、市制施行後初めての市会議員選挙が行われ、30人の市会議員が選出されました。選挙民の関心は高く、有権者数5,990人のうち、79.9パーセントの人が投票しました。

また、31日には、市会の全会一致をもって、それまで臨時代理の市長・助役・収入役は、新市政の三役として就任しました。



最初の市会議員 撮影は昭和20年ごろ



市制施行当時の芦屋市街

村から市へ跳ぶ芦屋

芦屋は、市制施行後初めての市会議員選挙が行われ、30人の市会議員が選出されました。選挙民の関心は高く、有権者数5,990人のうち、79.9パーセントの人が投票しました。

「村」から「市」へ
芦屋市の市制施行を報じる当時の新聞

天皇 皇后兩陛下の御前に
捧げ奉る民一億の詩ぎ

式典参列の感激

重なる新市へ發足だ

町を抜いて飛躍

近衛公

世界大戦後に飛躍

日露後の頃は僅か四百余戸
名士居住の草分け故郷藤氏

昔屋、伊丹の市制
十五日までに實地調査

大毎映畫の會

ラヂオ

六三〇〇

村から市へ跳ぶ芦屋

門前町、在野、政界、小選挙区、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、



大毎映畫の會

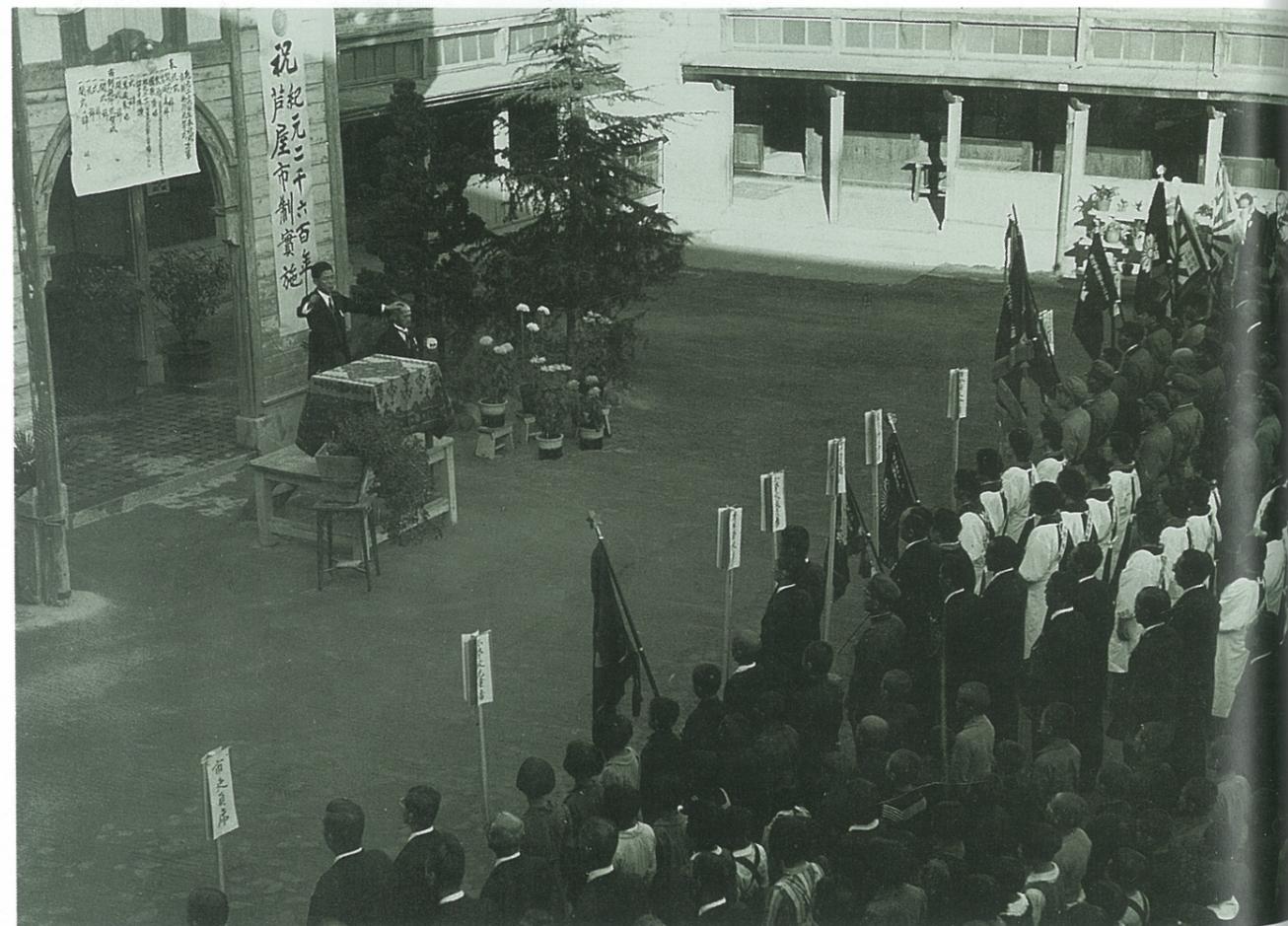
ラヂオ

六三〇〇

市制施行祝賀式

昭和15年11月10日、この日はあたかも紀元2600年の祝賀行事が全国的に繰りひろげられ、市制施行とあわせて、提灯行列、旗行列などが催されました。

村では、当初市制施行日を2月17日として内務大臣に上申、準備をすすめていました。これが延期されたため、紀元2600年にあたる11月10日を市制施行の日とすることを要望していただけに、その喜びもひとしおでした。



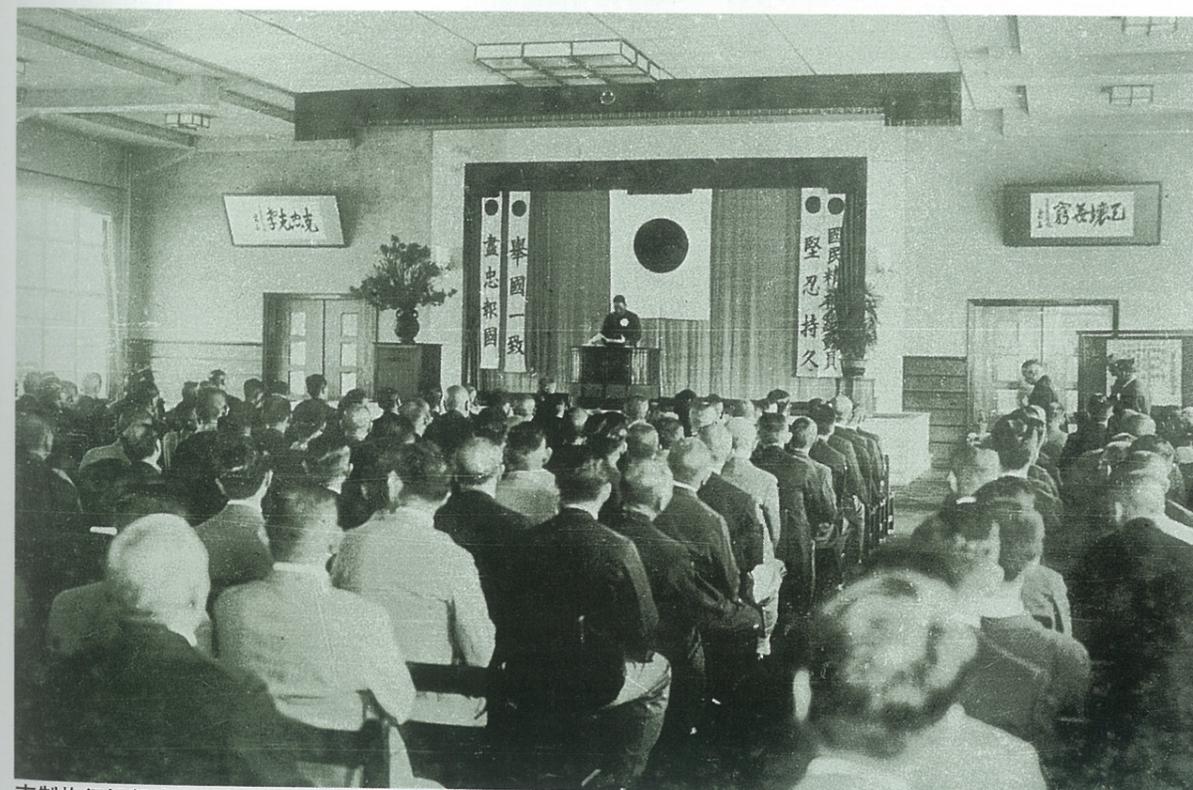
精道小学校での祝賀式 昭和15年11月10日



市制施行時配布された記念の風呂敷



岩園小学校での市制施行祝賀式 昭和16年夏



市制施行祝賀式 昭和16年夏 戦争などのため、正式の祝賀式は翌年校舎の新しかった岩園小学校で行われた。